

(仮称)新神谷公園ワークショップ

第1回「新しい公園について考えよう」

令和5年8月31日 18:00

神谷区民センター 第1ホール

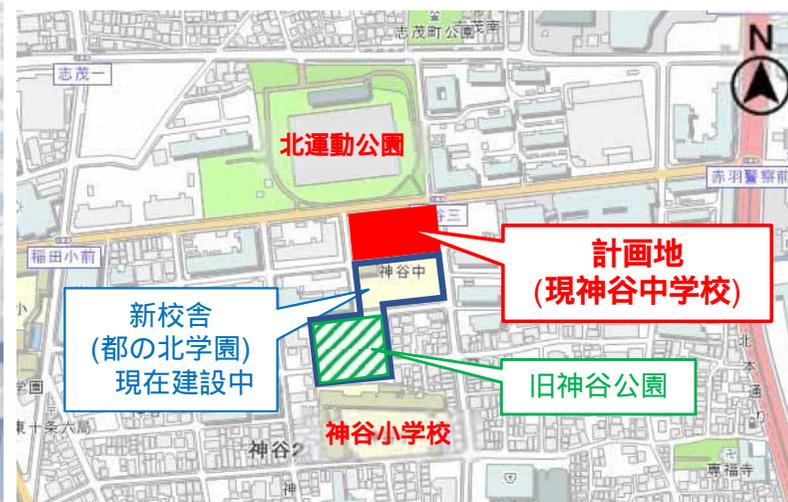
▶ (仮称) 新神谷公園の整備事業について

(仮称) 都の北学園の改築

- ✓ 稲田小学校、神谷小学校、神谷中学校を統合し、小中一貫校を建設
- ✓ 新校舎の建設に伴い、現・神谷中学校の敷地に、新たな公園を整備



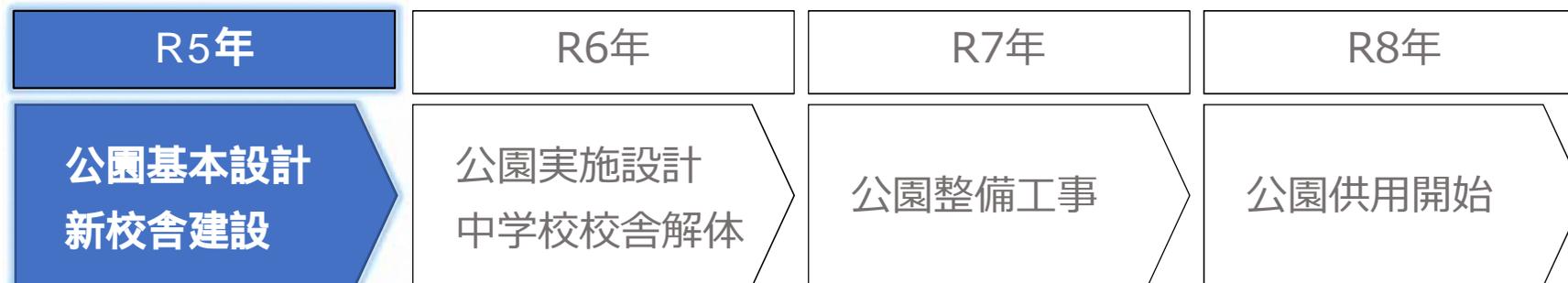
新校舎イメージ (北側から)



新校舎と新設公園の位置

▶ (仮称) 新神谷公園の整備事業について

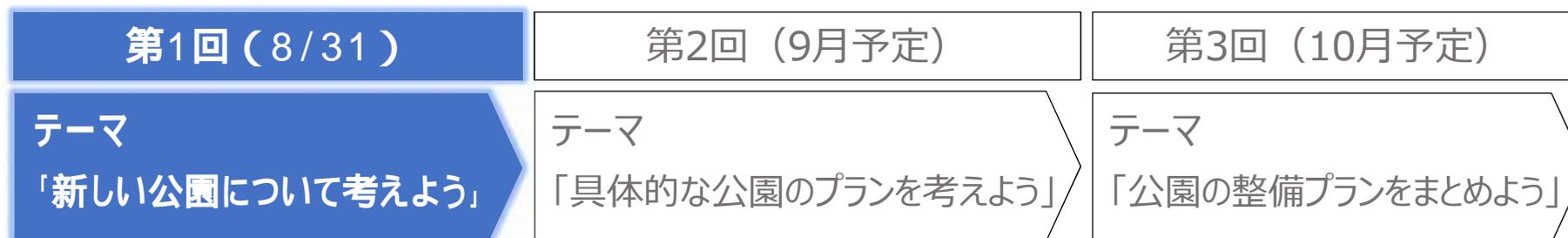
公園整備の全体スケジュール(予定)



R5年公園基本設計

整備内容を検討するワークショップを開催し、地域の皆様と情報を共有し、意見を出し合いながら整備内容をまとめていきます。

■ワークショップスケジュール(予定)



▶ 本日のスケジュール

- 1 計画地の概要
- 2 アンケート結果の紹介（神谷小中学校）
- 3 意見交換方法の説明
- 4 各グループでの意見交換（グループディスカッション）
- 5 グループ発表
- 6 第2回ワークショップについて
- 7 閉会

▶ 計画地の概要

- 1 上位計画の位置づけ
- 2 計画地の敷地概要
- 3 防災上の位置づけ
- 4 従前の神谷公園について
- 5 計画地の周辺公園（北運動公園）について
- 6 (仮称) 都の北学園ワークショップでの公園に関する意見

▶ 上位計画の位置づけ

北区神谷中サブファミリー施設一体型小中一貫校全体構想

(仮称) 都の北学園の設置に関する基本方針、教育内容、新校舎や公園等の施設整備について、とりまとめたもの

- ✓ 施設配置の具体的な考え方のひとつに、「**公園機能の向上**」が示されている。
→「移転を機に北運動公園一帯の災害時の安全性の向上を図るとともに、公園面積を拡充して、誰もが安全に楽しく利用できる公園整備を行う」

- ✓ 学校の周辺整備について
 - ①歩行者空間の確保
 - ②公開空地の整備
 - ③緑化の充実等→沿道や地域景観に配慮



新校舎と公園の配置

▶ 上位計画の位置づけ

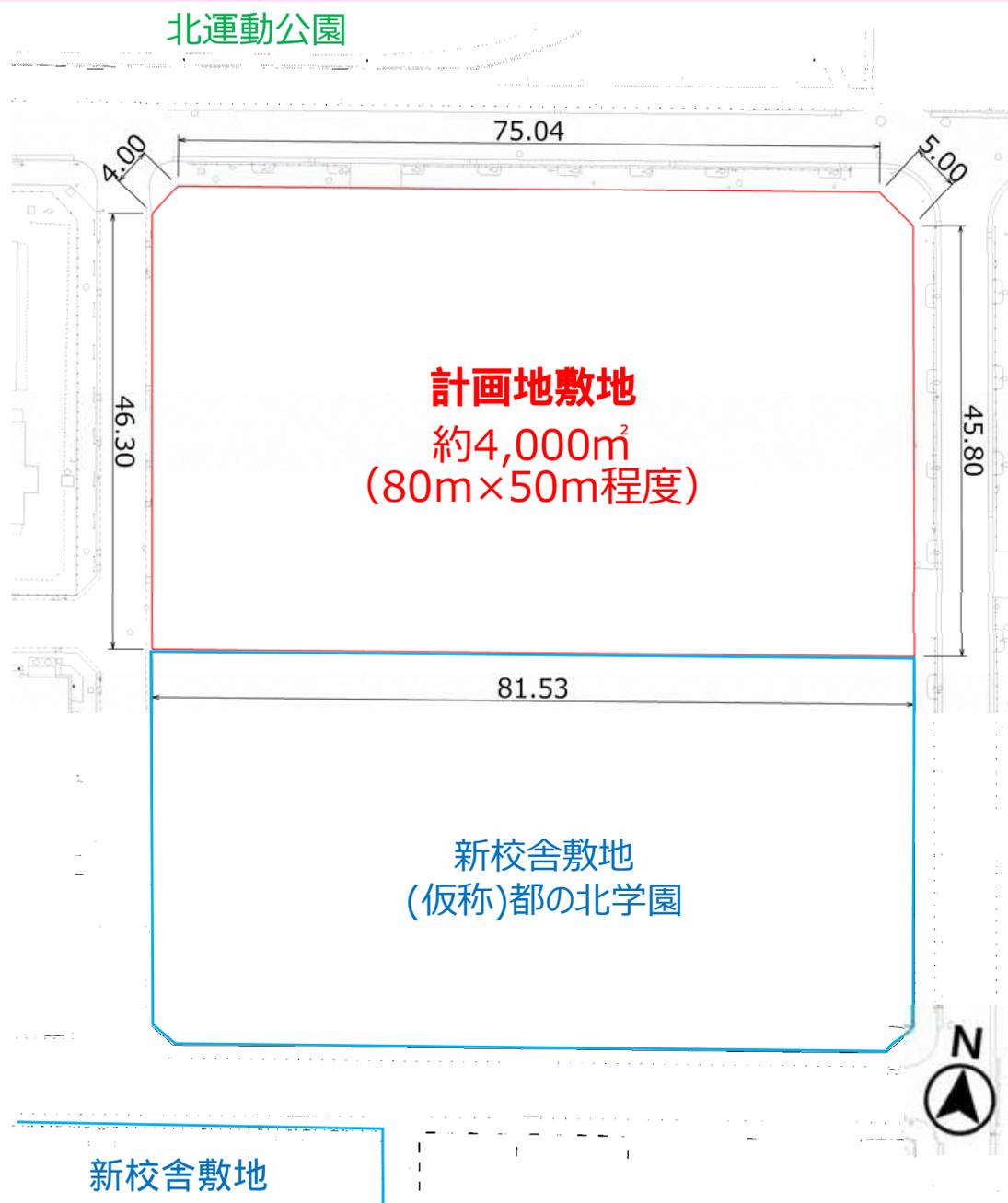
北区緑の基本計画... 緑地の保全や緑化の推進の将来像、目標、施策などを定めたもの

- ✓ 基本理念：「ひといきいき みどりいきいき 育てる つながる北区」
- ✓ 基本方針：「魅力ある公園やふれあえる緑づくり」
 - ⇒魅力ある公園づくり【重点方針】
 - ・情報発信や維持管理の工夫により、公園の魅力を一層引き出していく。
 - ・コンセプトを再設定・明確化し、個性ある公園づくりを進める。

北区公園総合整備構想... 公園の整備・管理・運営に関するより具体的な目標、方針、施策を定めたもの

- ✓ 基本理念：「にぎわいを生み・くらしを豊かにする魅力ある公園」
- ✓ 基本目標：①「誰もが使いやすい身近な公園」
 - ②「安全で快適な安らげる公園」
 - ③「個性豊かな楽しい公園」
- ✓ 基本方針：メリハリのある公園整備（最適な利用テーマを設定し施設整備を推進）

▶ 計画地の敷地概要



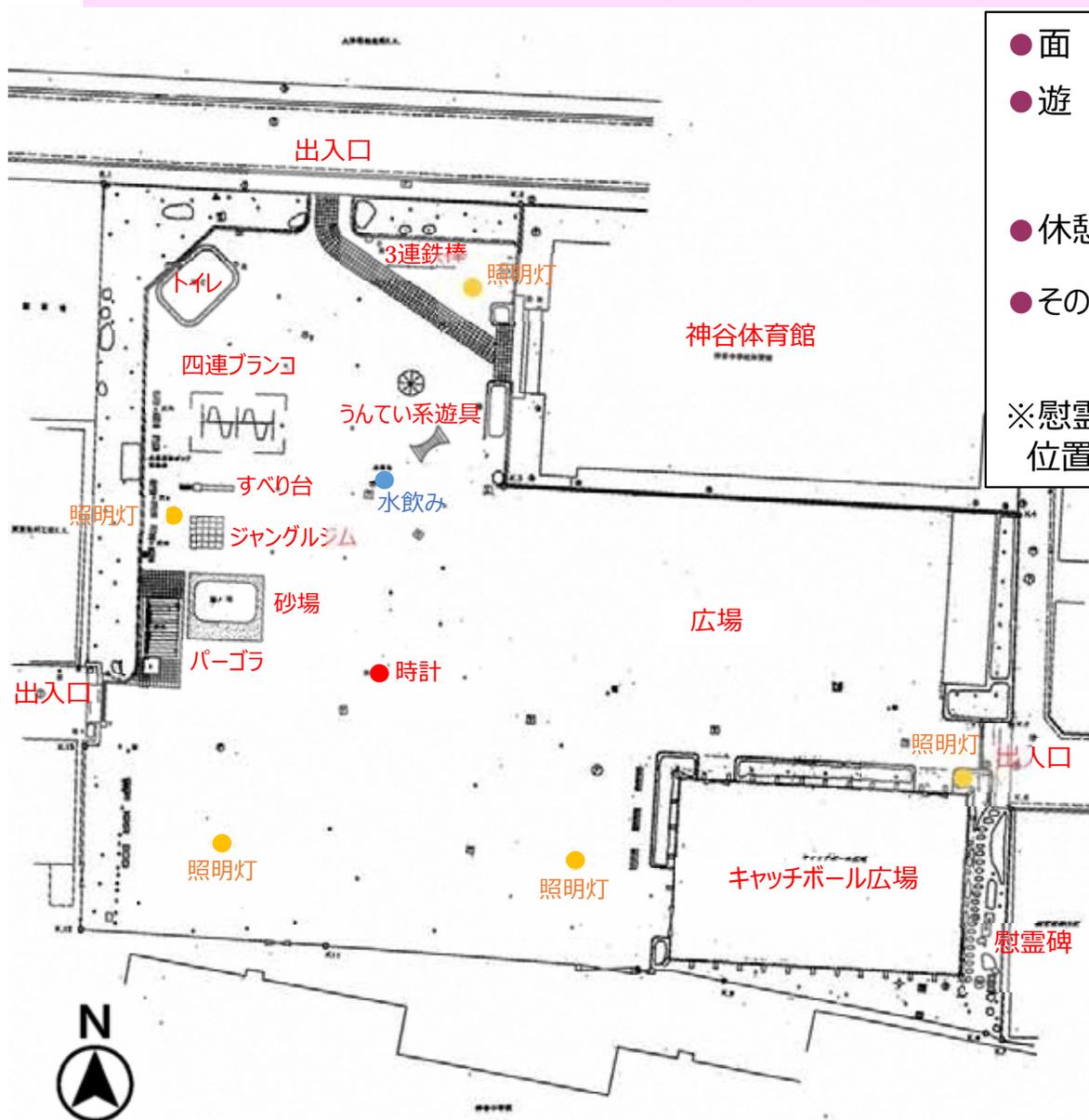
▶ 計画地の防災上の位置づけ



	<p>避難場所 火事から身を守るための場所。火事が起きたときは、火事とは反対方向にある避難場所へ逃げてください。公園や河川敷、広場など、大きく開けた場所が定められています。</p>
	<p>いっつき集合場所 集団で避難するとき、待ち合わせに使う場所。災害の様子を見るのに使う場所。町会・自治会が独自で小さい公園や空き地、小・中学校をいっつき集合場所に定めています。</p>
	<p>避難所（区立小・中学校等） 災害で家が壊れる、燃えるなどして住めなくなった時に、しばらく生活する場所。</p>
	<p>災害時給水ステーション 大きな災害が起きたとき、北区が水を供給する場所。飲み水として使う水を供給します。</p>
	<p>区管理貯水槽 火を消したり、災害用トイレに使うための水を貯めている施設。</p>

- 計画地は、北運動公園等の周辺とあわせて**避難場所**に指定。（東京都震災対策条例）
- 神谷小学校、神谷中学校、稲田小学校が避難所として指定。
- 志茂町公園や成立学園、柏木神社が、いっつき集合場所に指定。

▶ 従前の神谷公園について

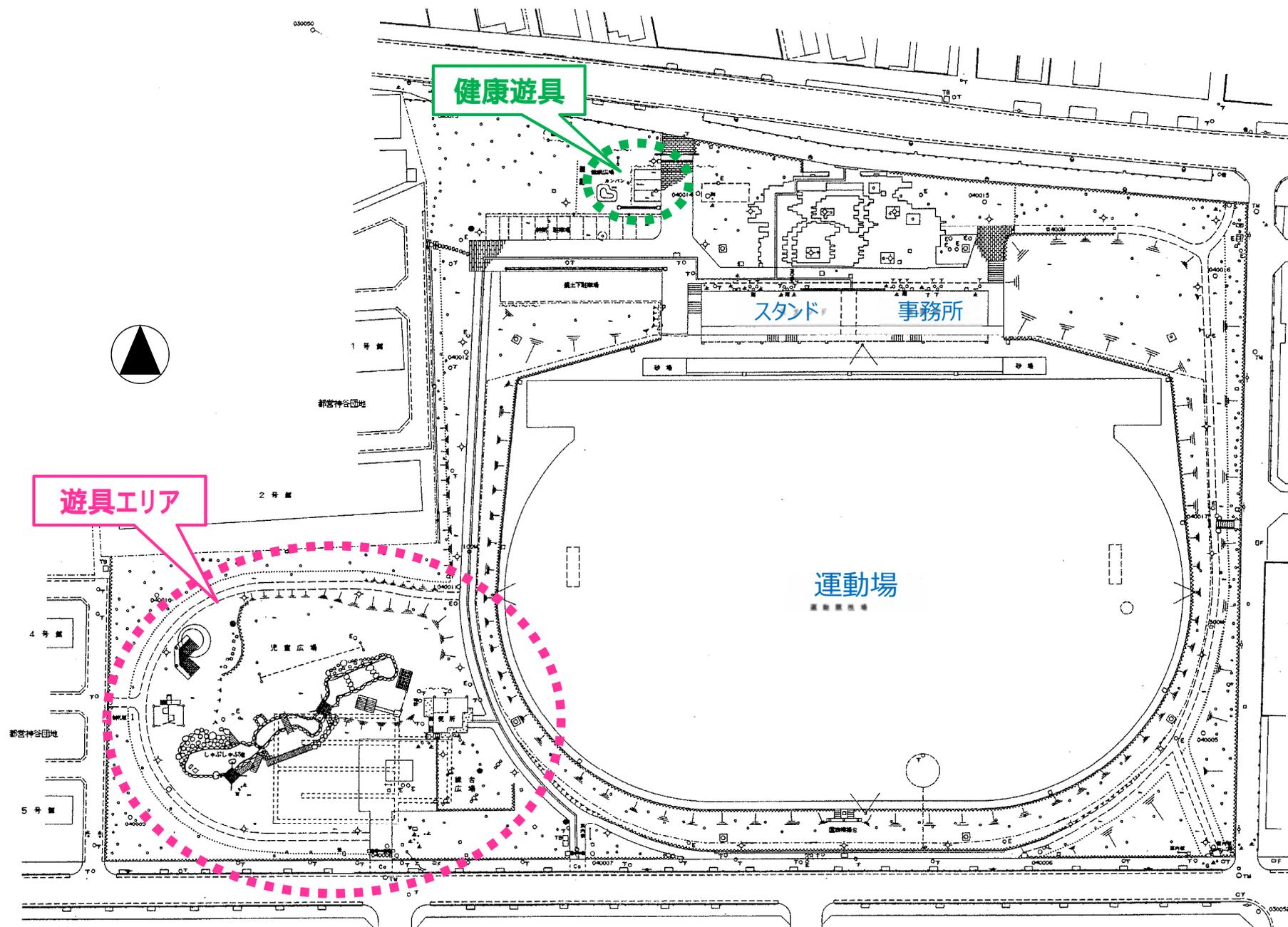


旧神谷公園平面図

- 面積：約3,800㎡
 - 遊具：四連ブランコ、砂場、すべり台、ジャングルジム、3連鉄棒、うんてい系遊具（計6基）
 - 休憩施設：ベンチ(11基)、パーゴラ
 - その他施設：キャッチボール広場、水飲み、照明灯、トイレ、時計など
- ※慰霊碑は、都の北学園新校舎敷地内となる現在の位置に存置となる。



▶ 計画地の周辺公園：北運動公園



▶ 計画地の周辺公園：北運動公園

● 遊具エリア



複合遊具



砂場



すべり台



2連ブランコ



給水ステーション



流れ



ターザンロープ



トイレ

▶ 計画地の周辺公園：北運動公園

● 健康遊具



懸垂



背のばしベンチ

● 運動場



運動場



バイク型健康遊具1



バイク型健康遊具2

▶ (仮称) 都の北学園ワークショップでの公園に関する意見

- ✓ (仮称)都の北学園の改築のワークショップを平成30年に実施
- ✓ ワークショップ内で、公園に関する意見も挙げられている

○主な意見

<学習環境>

- ・少人数教室は引戸で廊下と一体で使用できると良い。
- ・南校舎低層部屋上はテラスや屋上庭園として利用できると良い。
- ・オープンスペースに面する教室の出入口は、児童、生徒の落ち着きを図る為、オープンタイプでなく、前後の出入口としてほしい。

<動線計画>

- ・1階普通教室は雨天時に濡れずに出入口まで向かえると良い。

<近隣配慮・防災>

- ・災害時に全教室の児童、生徒が体育館に向かうまでには時間を要するのでグラウンドにも円滑に避難できるようにしてほしい。

<北側校舎と隣接する公園との関係>

- ・北側校舎は公園側からもアクセスできると良い。
- ・学童の遊び場として公園も使用できるようにしたい。
- ・公園と一体に感じられるような北側校舎を計画してほしい。
- ・運動会や音楽の練習に公園を使えると良い。

○引き続き検討していくこと

- ・神谷公園の記憶が残るよう、自然豊かで神谷公園の記憶の残る外構計画となるよう工夫

▶ アンケート結果の紹介

町会と神谷小中学校が連携して、公園整備に関するアンケートを実施

- 設問（回答：自由記述式）

「都の北学園の側に、新しく公園をつくる計画があります。どのような公園があると良いでしょうか。具体的な提案をしましょう」

- アンケート対象

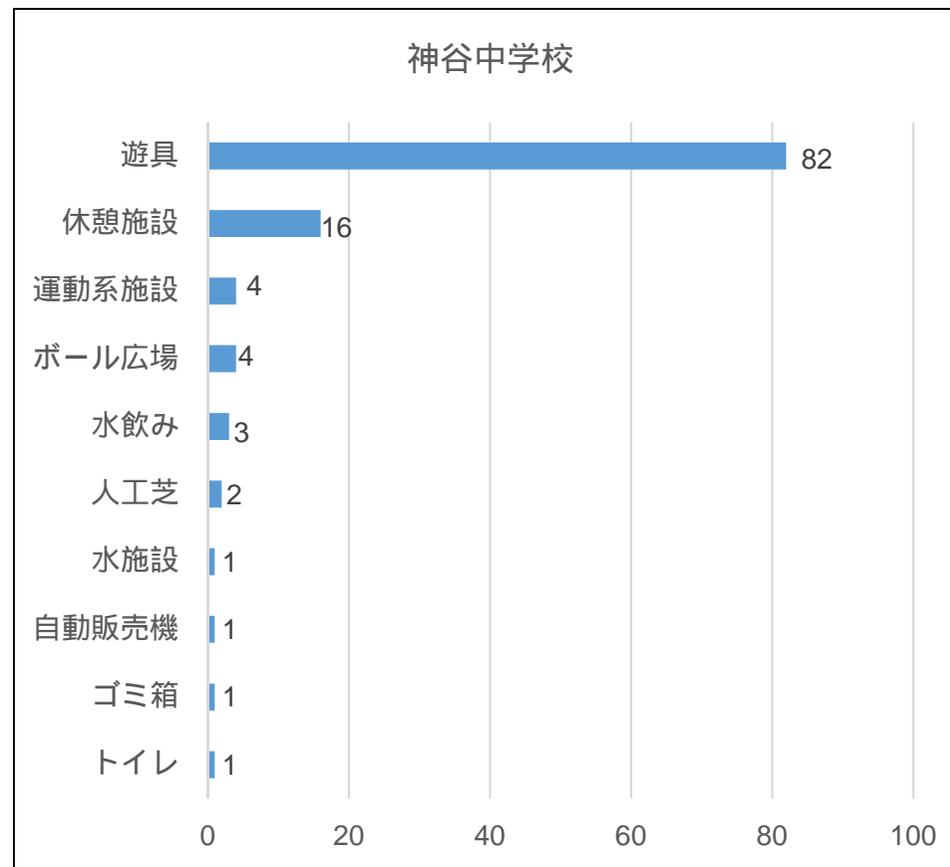
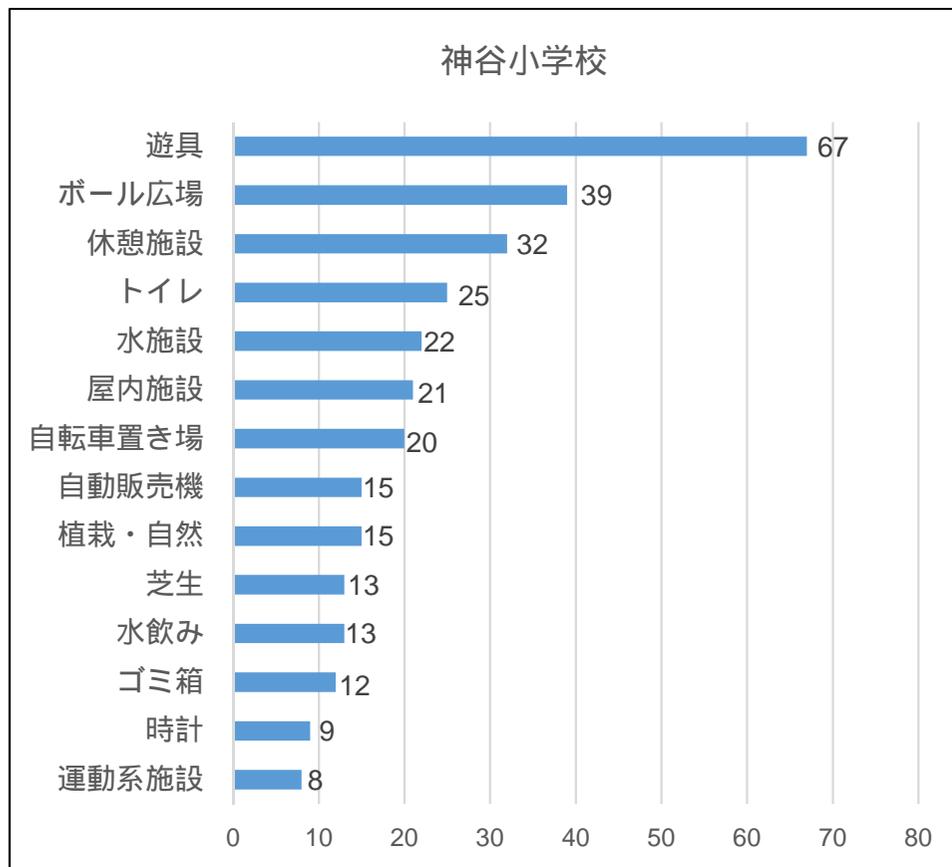
神谷小学校 生徒53名

神谷中学校 生徒63名

- ✓ 自由記述式の回答のため、項目別に整理・集計したアンケート結果をご紹介します。

▶ アンケート結果の紹介

■ 具体的な施設に関するもの（ハード面）



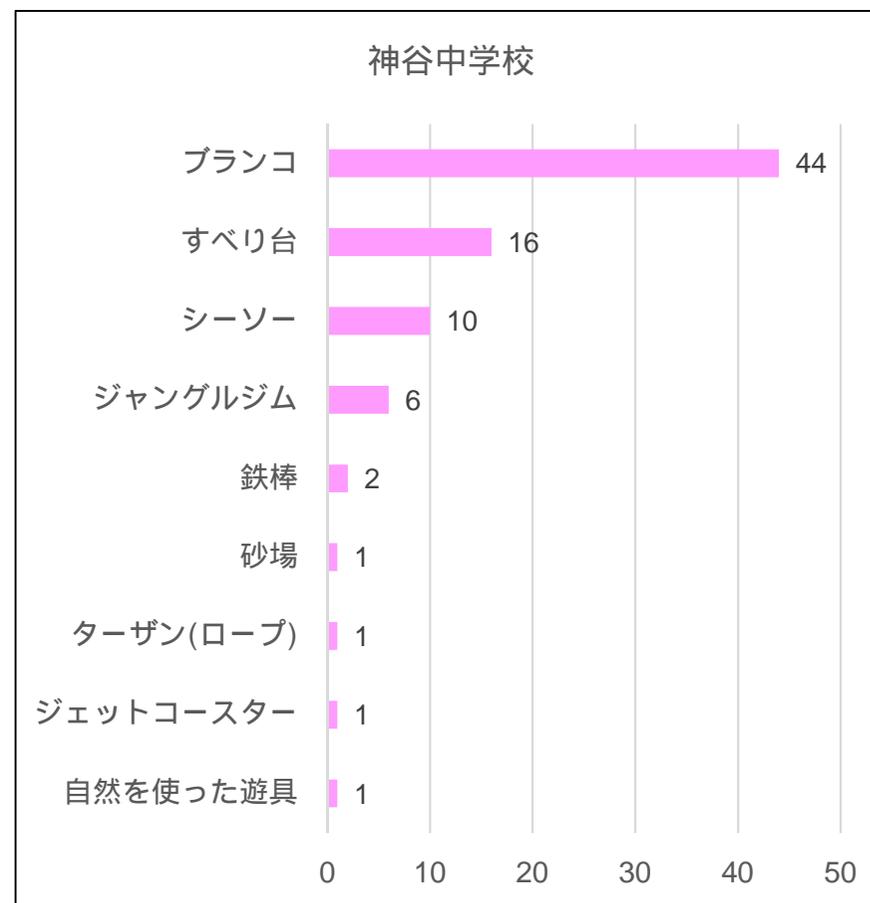
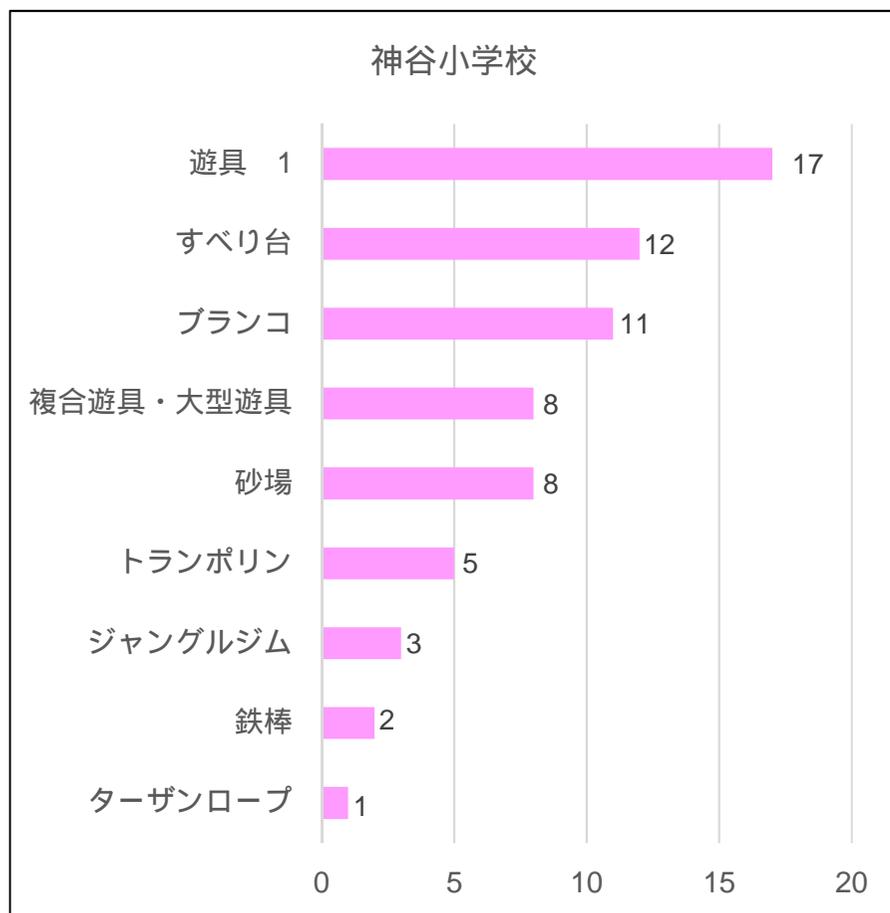
※遊具は1人で複数種類の回答があったものもカウントしております

※休憩施設 … ベンチや日よけなど

水施設 … 噴水や水遊び場など

▶ アンケート結果の紹介

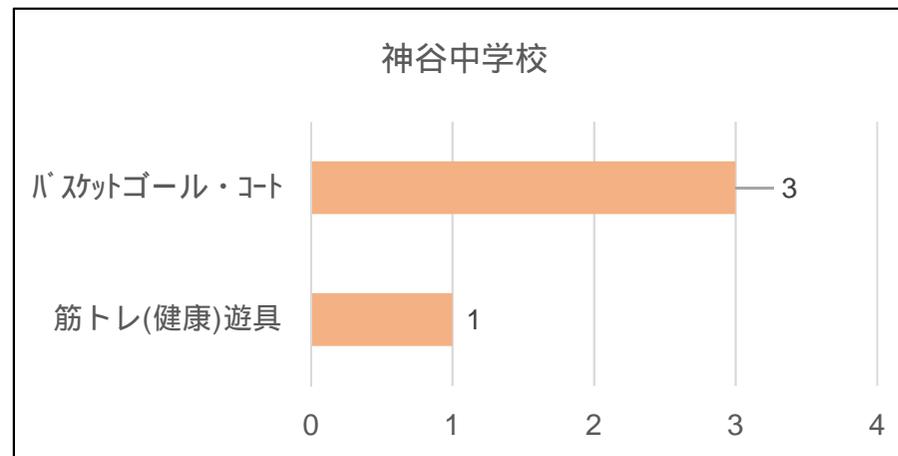
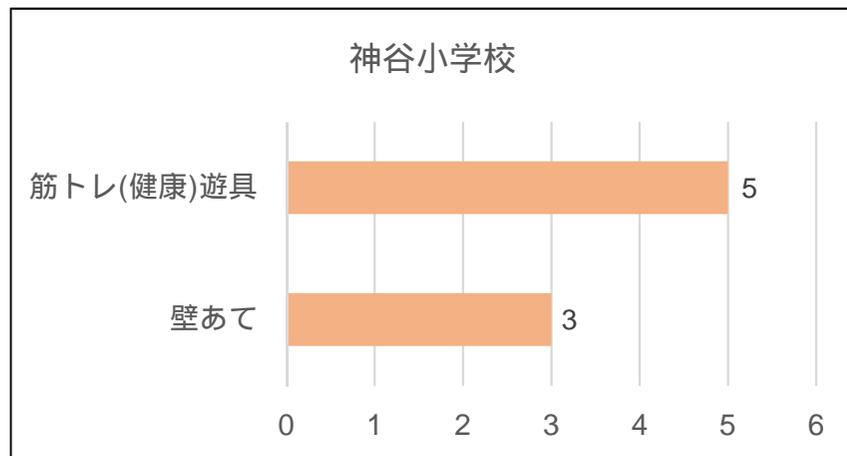
■ 遊具の回答内容



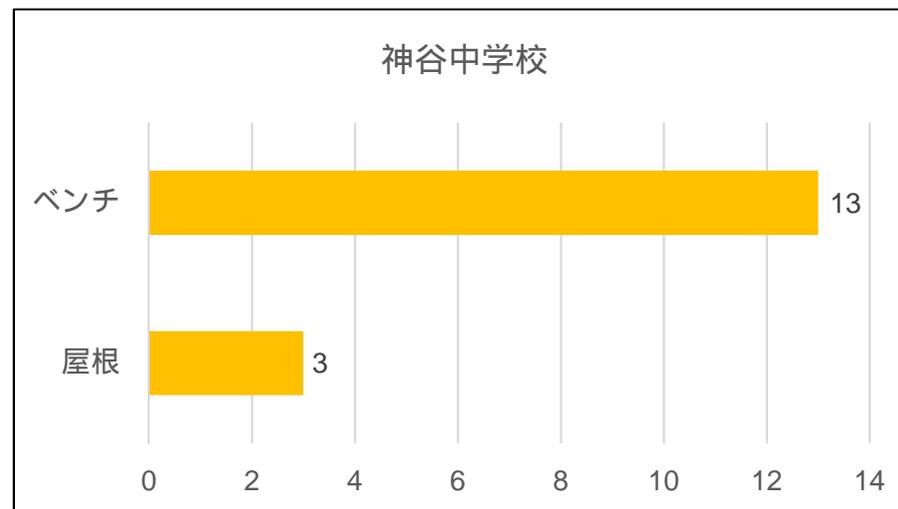
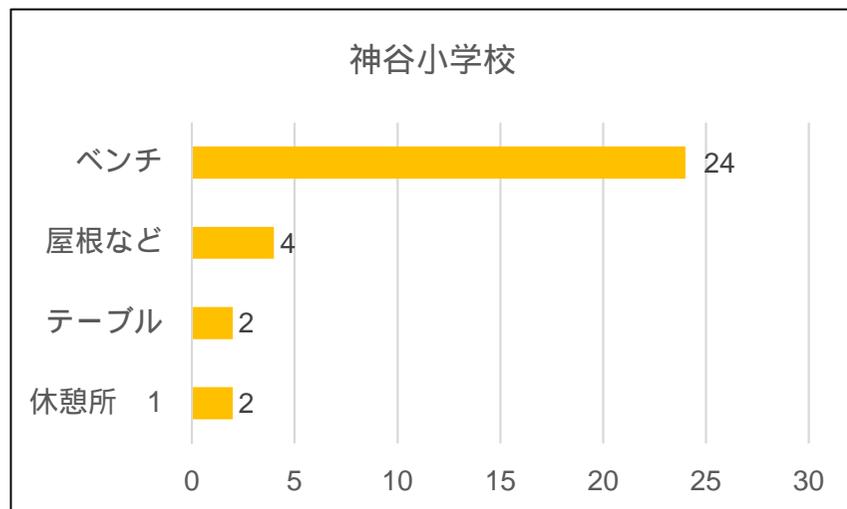
※1 具体的な遊具ではなく、「遊具」の記載のみであったもの。

▶ アンケート結果の紹介

■ 運動系施設の回答内容



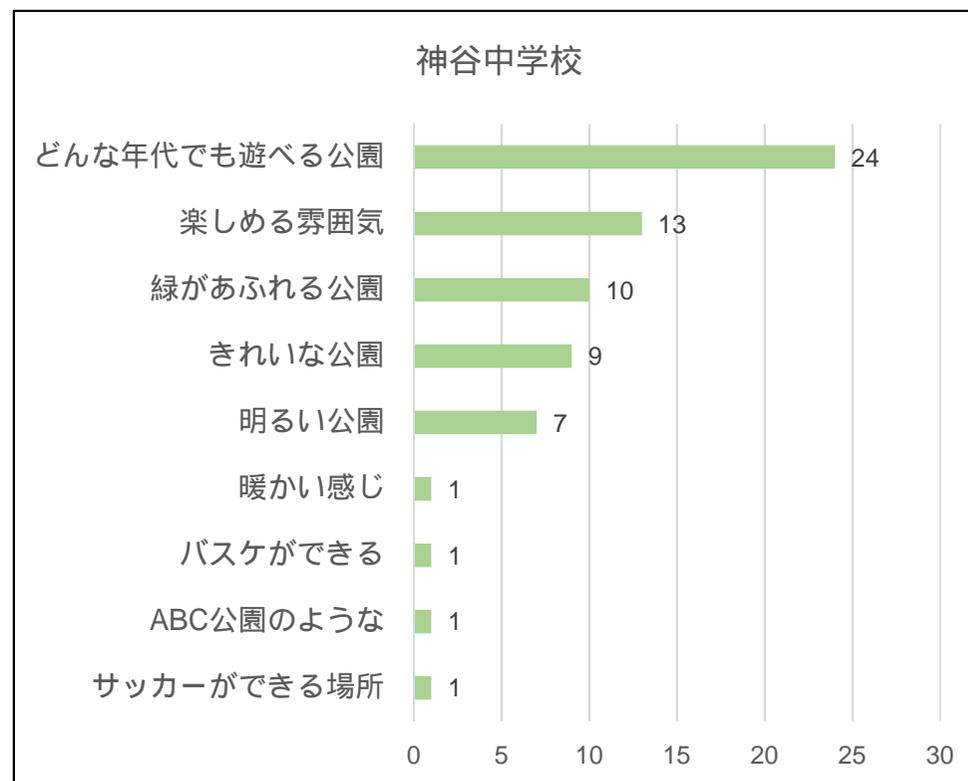
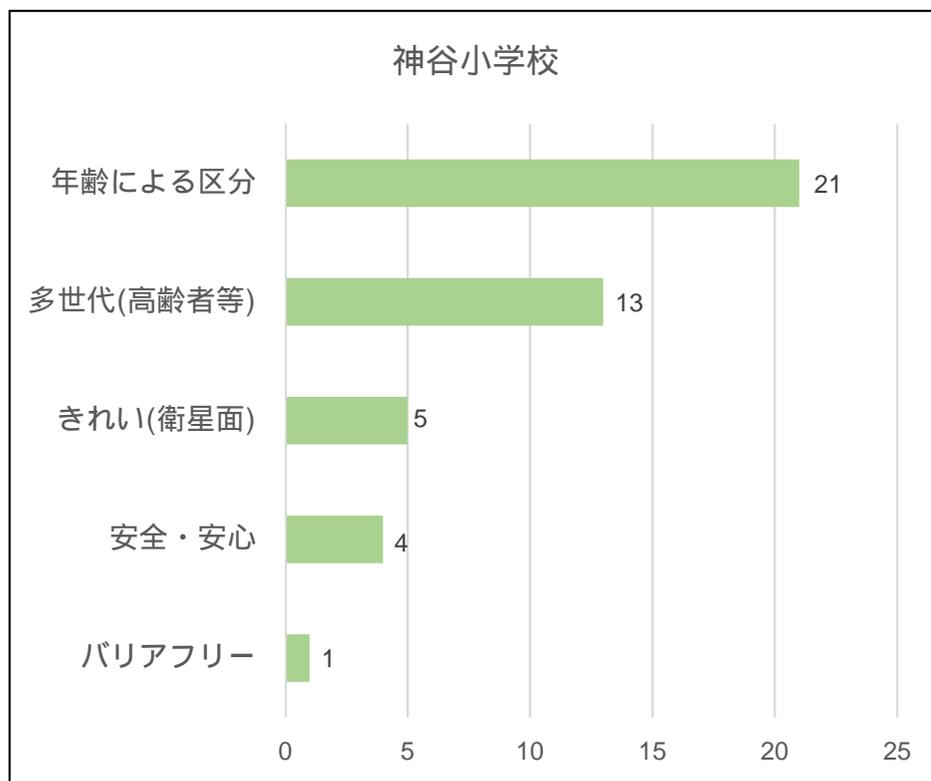
■ 休憩施設の回答内容



※1 具体的な施設ではなく、「休憩」や「休憩所」の記載のみであったもの。

▶ アンケート結果の紹介

■ 利用やイメージに関するもの（ソフト面）

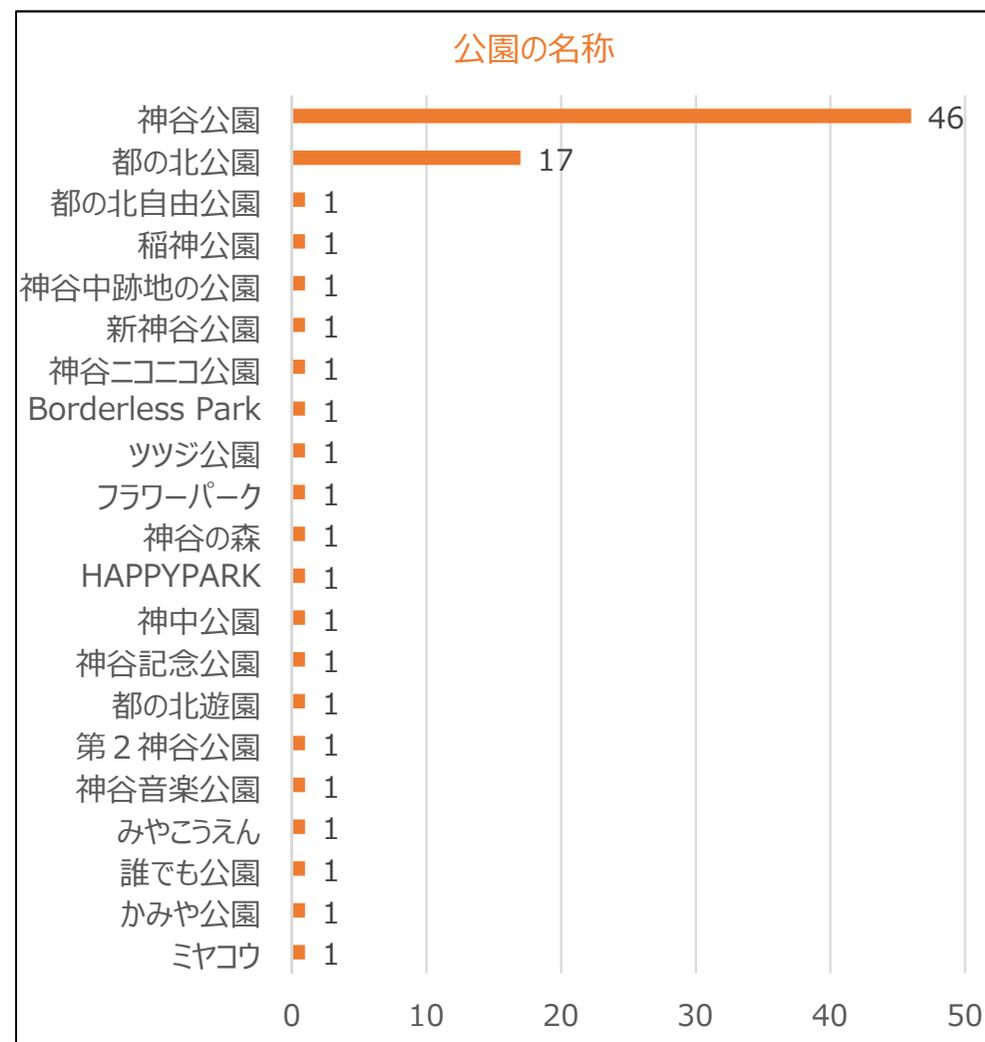
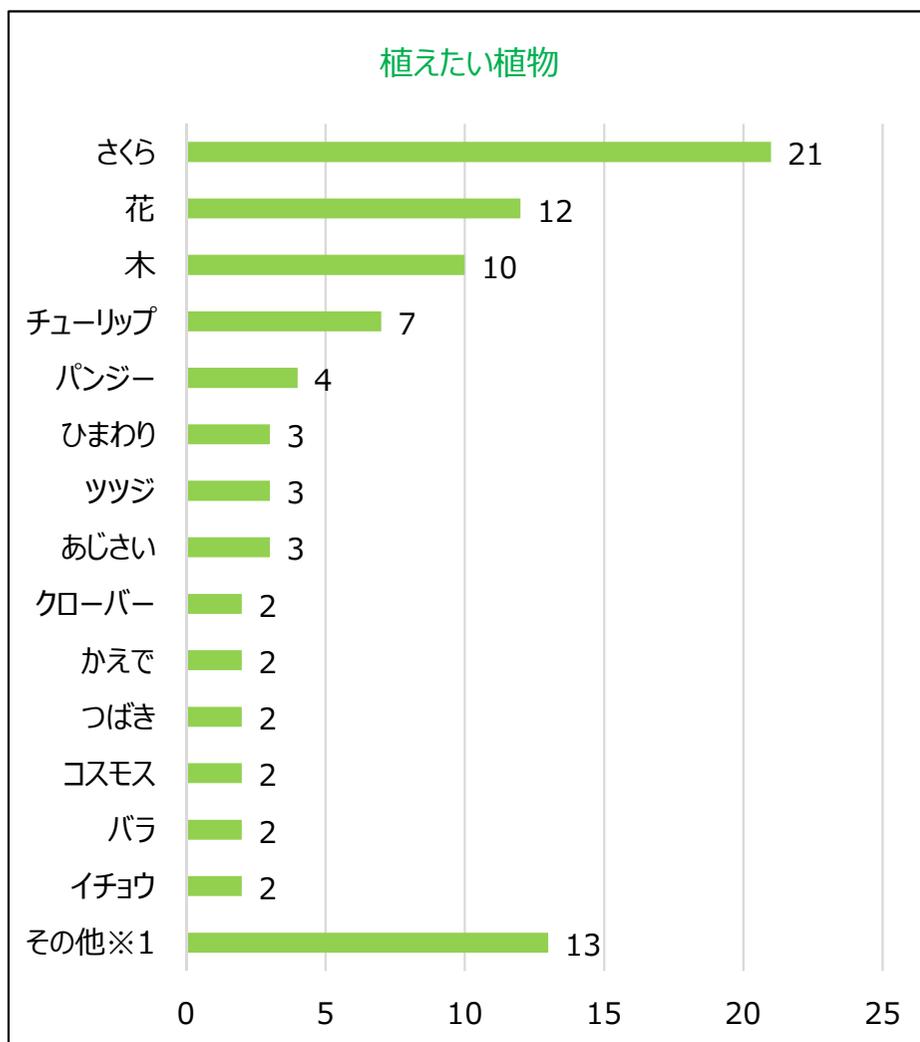


※年齢による区分…小学生以上と小学生未満の子どもで遊ぶエリアを分ける等

※多世代…高齢者も含めた世代を問わない利用ができる等

▶ アンケート結果の紹介

■ 神谷中学校



※1 回答数が1つのみのもの

色とりどりの花、季節に合った花、マリーゴールド、ネモフィラ、かしの木など

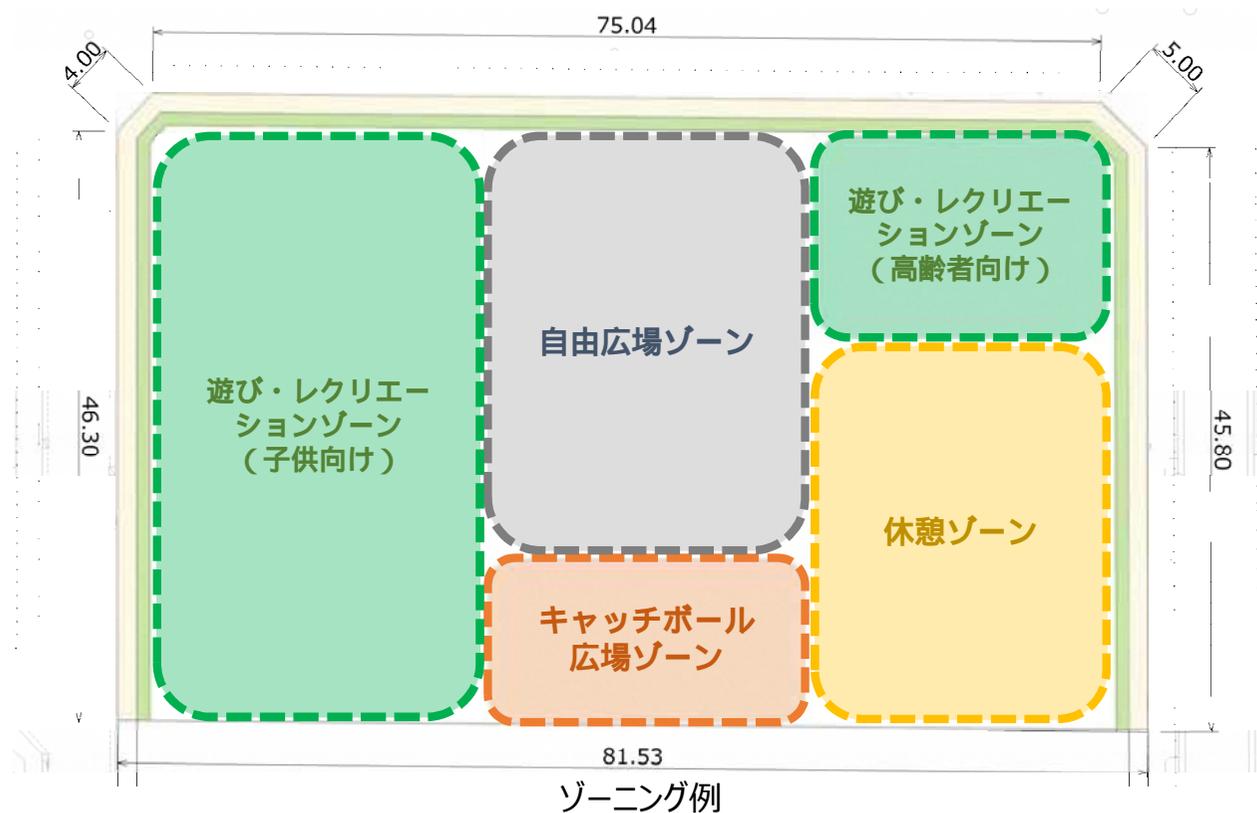
▶ 意見交換方法

本日の意見交換で決めたいもの

各グループで意見交換を行い、公園の ゾーニング をつくる。

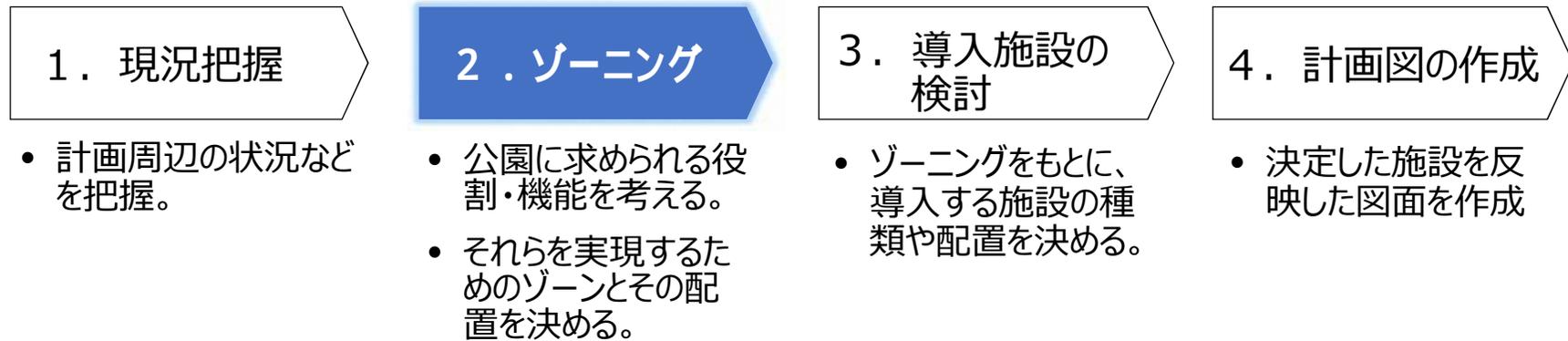
ゾーニングとは

公園敷地内の 空間を用途・機能ごとに一定の範囲にわける こと。



▶ 意見交換方法

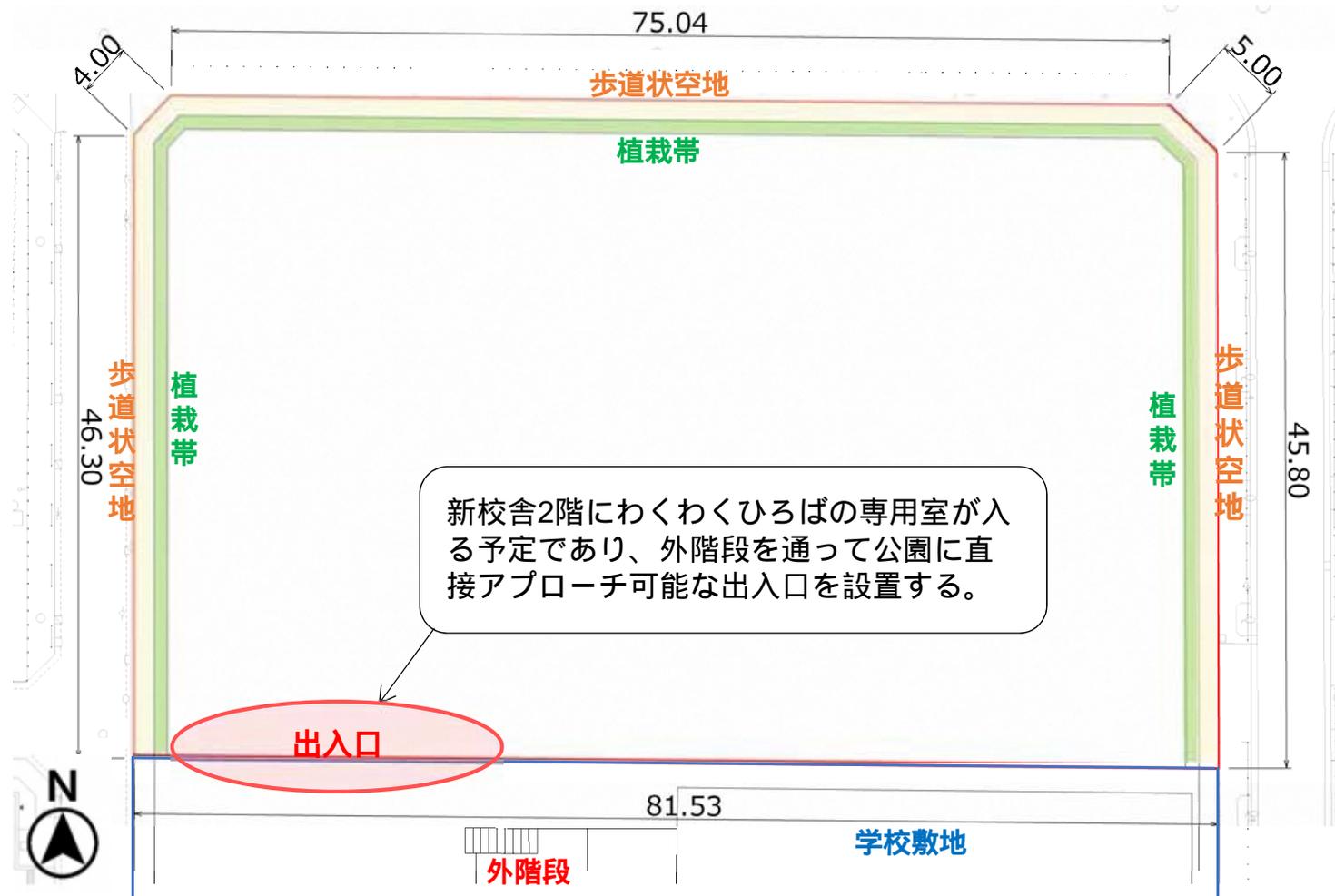
一般的な公園のプランニングの手順



- ✓ 最初にゾーニングをつくる事で、具体的な施設を考える際の指針となり、整備の目標や方向性のおおきなブレを防ぐことができる。
- ✓ 設定したゾーニングを基に、施設の種類や配置、動線を考えていく。

▶ ゾーニングを考えるにあたり前提となる条件

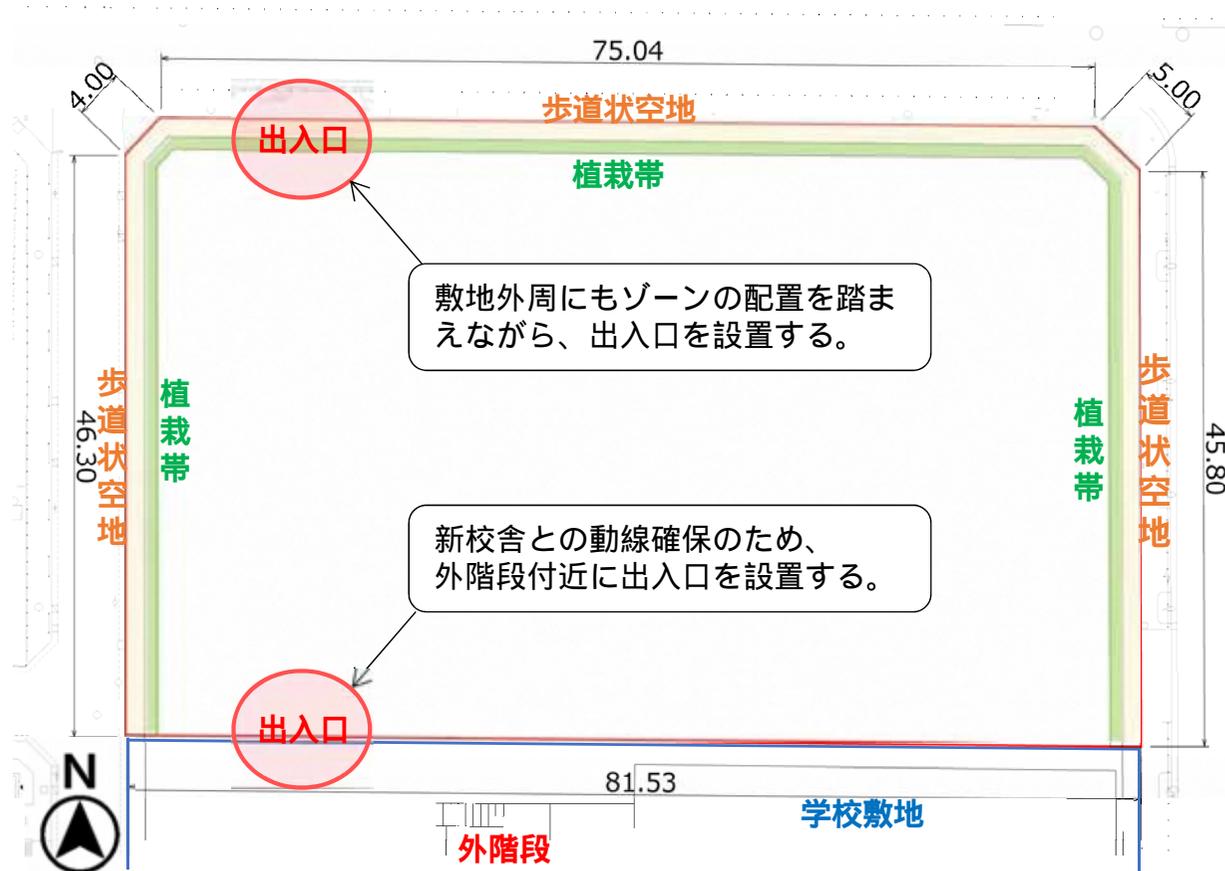
- ✓ 敷地外周に歩道上空地(1.5m)と植栽帯の設置
- ✓ ゲートボールやキャッチボールができるようなスペースの確保
- ✓ 新校舎外階段付近に公園との出入口の設置



▶ ゾーニングを考える

<ゾーニングの決め方>

- ✓ 提示例の中から選ぶか、自分たちでオリジナルのゾーンを考えて、配置を決めていきます。
- ✓ ゾーン内で想定する利用方法や導入施設、その場所に配置した理由も考えましょう。
- ✓ ゾーンの配置を踏まえ、敷地外周部に公園の出入口を設置してみましょう。



<ゾーンの例>

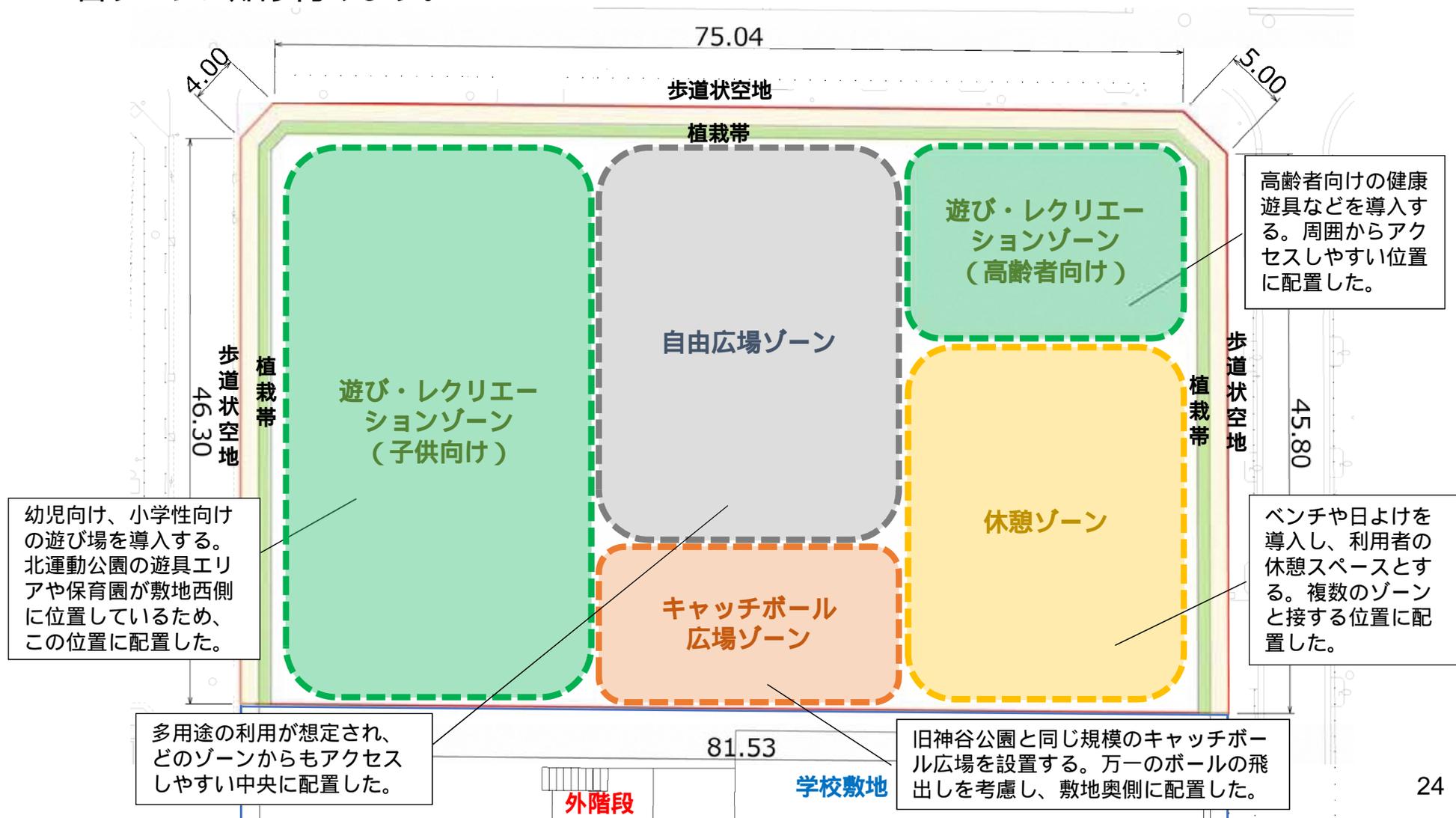


- ✓ これらのゾーンを使っても、オリジナルのゾーンをつくってもOK

例：「幼児遊具ゾーン」、「児童遊具ゾーン」
「健康・運動ゾーン」、「植栽修景ゾーン」
など

▶ ゾーニング例

- ✓ テーブルにある敷地図に、ゾーンを直接書き込みます。色わけするとわかりやすくなります。
- ✓ そのゾーンでの利用方法や導入施設、その場所に配置した理由などを、ふせんに書いて各ゾーンに貼り付けます。



▶ 各グループでの意見交換（グループディスカッション）

テーマ「新しい公園について考えよう」

- ✓ グループごとにメンバーの自己紹介をしましょう。
- ✓ 発表者を選びましょう。
→意見交換後に各グループに、意見交換結果を発表してもらいます
- ✓ 意見交換の開始
→各グループで意見交換をしながら、ゾーニングを作成しましょう。
- ✓ 意見交換の時間は40分程度

▶ グループ発表

✓ 各グループの意見交換の結果を発表し、情報を共有しましょう。

✓ 1グループ4分程度

※発表者に時間の経過がわかるよう、2分経過時と4分経過時（終了時）に合
図します。

▶ 第2回ワークショップの予定

◆ 第2回ワークショップ ◆

日時：令和5年9月29日（金） 18時～（1時間半程度）

会場：神谷区民センター 2階 第1ホール（神谷3-35-17）

テーマ：「具体的な公園のプランを考えよう」

- ✓ 本日のワークショップ内容及び次回の開催案内は、ニュース・案内チラシを作成し、後日、案内の配布や区のHP、SNSなどにより、お知らせいたします。

▶ 閉会

- ✓ 本日のワークショップの統括

【お問合せ先】

北区役所 土木部 土木政策課 事業計画係

TEL : 03-3908-9252 FAX : 03-3908-4042

mail : jigyokeikaku@city.kita.lg.jp